

大牟田市立橘中学校

1 本校のESDの特徴

本校は、学校教育目標である「志を持って、自ら学び、未来を切り拓く生徒の育成」中での持続可能な開発のための教育の重点目標として、「ひと・こと・もの」について、自ら課題を見出し、体験活動を通して、主体的に問題解決ができるように、3つのキーワード「発信！行動！交流！」を掲げ、活動を行った。

具体的には、福祉体験学習、職場体験学習、保育体験学習、防災・減災学習を柱に、①福祉に係わる学習、②将来の生き方に係る学習、③生命尊重・思いやりに係る学習を行ったのに加え、今年度より「SDGs11：住み続けられるまちづくりを」として④命を守る学習を実施した。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

本校では、持続可能な開発のための教育の目標として①「持続可能な発展のために求められる原則、価値観及び行動が、あらゆる教育や学びの場に取り込まれるようにする。」②「すべての人が質の高い教育の恩恵を享受すること。」③「環境、経済、社会の面において持続可能な将来が実現できるような価値観と行動の変革をもたらすこと。」④「人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと。」⑤「他人・社会・自然環境との関係性を認識し、『かかわり・つながり』を尊重できる個人を育むこと。」とした。

また、持続可能な開発のための教育によって育みたい力を①「批判的に考える力」②「未来像を予測して計画を立てる力」③「多面的・総合的に考える力」④「コミュニケーションを行う力」⑤「他者と協力する力」⑥「つながりを尊重する態度」⑦「進んで参加する態度」を掲げた。

具体的方策として、学び合いによって志を持つように、学習方法に関して、解決方法や手段を考え、見通しを持ち計画を立て、情報を収集・分析したり、問題状況に応じて、事象間の因果関係について分析したり推論したり、相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現する方法を取り入れた。また、認め合い自ら学ぶように、他者や社会との関わりについて、異なる意見や他者の考えを受け入れたり他者と協同して課題を解決したり、課題の解決に向けて、地域の活動に参加し、身近な人や地域、自然に感謝の気持ちを持ち、自分にできることをしようとする心を養った。さらに、高め合い、未来を切り拓くために、自分自身に関することとして、自らの行為について意思決定をさせたり目標を設定し課題の解決に向けて主体的・創造的に取り組ませたり、自己の将来を考え、夢や希望を持つように、活動を仕組んでいった。

3 特徴的な活動事例

(1) 福祉に係わる学習（福祉学習）

1年生において、福祉に関する現状と課題の学習を経た上で、アイマスク体験や車いす体験、歩行体験などの高齢者疑似体験を校内で行い、高齢者との接し方やバリアフリー化の必要性等を学んだ。その後、まとめの学習として認知症の方や高齢者の方の気持ちを思いやることや身のまわりの施設や福祉環境の整備の重要性を体験から学んだ。



(2) 将来の生き方に係わる学習（職場体験学習）

2年生において、自分の興味・関心や適性について考え、「働く」ということがどのようなことであるかを学習した上で、大牟田市内の33の事業所に分かれて、職場体験学習を行った。その中で、社会人としての責任や人とのつながりについて考え、挨拶や礼儀、自分のことだけでなく人のことを考えて行動することを身につけると共に、「働く」ことの喜びや大切さや苦悩、地域の現状や地域の事業所の活躍を肌で感じる事ができた。



(3) 生命尊重や思いやりに係わる学習（保育体験学習）

3年生において、少子高齢社会の現状や将来親になること、また自然や社会の中での生命尊重の重要性を考えながら、地域の5の幼稚園・保育園に分かれ、保育体験実習を行った。乳幼児の特性や注意することを学習した後、各班で年齢に合わせた設定保育のために、遊び道具の作製や設定保育進行等を考えた。乳幼児と接する中で、コミュニケーションの大切さや言葉遣いや目線や姿勢の大切さ、優しく思いやりの気持ちの必要性を実感することができた。



(4) 夜の防災・減災学習（命を守る学習）

今年度は1年生で大雨や地震などの災害に対し、防災グッズの使い方や避難の仕方など保護者、地域の方々と3学期始業式の夜の体育館で学習会を開いた。また、大牟田市防災対策本部の方から、過去の橘中校区の水害や調節池の役割など講話を聞いた。生徒の感想からは「グループ協議では地域の人の話がとても役に立った。これからも防災について調べ、災害が起きた時にすぐ避難できるようにしたい。」など防災に関する意識の高まりが見えた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域の素晴らしさや地域の将来の展望を考える機会にすることができた。
- ・自分の将来を見つめ、自分にできる社会貢献を考えることができた。
- ・体験後のまとめの学習で、保育の現状や将来の自分について見つめ直す機会となり、進路学習とのつながりもつくる事ができた。
- ・防災・減災学習において、災害に対しどう備えればいいのか、また、災害時にどうすればいいのかを保護者、地域の方々と一緒に考えることができた。

○課題

- ・協働体制の確立を通じた効果的・効率的組織づくりを考え、個人から組織運営部主体への学校運営への転換を図る。
- ・今後も生徒の実態に応じたカリキュラムマネジメントの体制整備を行い、各種データの分析と改善の方策を明確化し、人間関係づくりを重点化した教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動等の年間指導計画を明確に作成し、確実に実施する。
- ・今年度は3学期の始業式の夜に夜や冬の時期でも災害は起こりうることを想定し、夜の防災・減災学習を行った。来年度からは指導計画の中に取り入れ、3年間を通しての計画的に実施していく。

目標の具現化に向けた実践			
	1年	2年	3年
総合的な学習の時間	<p><福祉学習></p> <p>1. 大牟田市の福祉の現状把握および概観</p> <p>2. 高齢者や認知症についての学習 (GTによる絵本教室・認知症学習など)</p> <p>3. 特別支援学校訪問および交流活動</p> <p>4. 様々な人々との関わりから学んだことの発表・発信。</p> <p><キャリア学習></p> <p>1. 職業調べ</p> <p>2. 職業インタビュー</p> <p><世界遺産学習></p> <p>1. 世界文化遺産宮原坑見学</p> <p>2. 世界遺産を守る活動 (市役所・地域の方々と共に)</p>	<p><福祉学習></p> <p>1. 高齢者とふれ合う老人保健施設等の訪問</p> <p>2. 地域の方々と共に実施する認知症SOS訓練</p> <p>3. 高齢者の方との関わりから学んだことを発表・発信。</p> <p><キャリア学習></p> <p>1. 職業体験活動</p> <p>2. 農作物を種から仕入れ、販売・加工する活動をとおした、流通や販売業などの体験。</p> <p>3. 働く上で大切な心構えや意義等についてまとめ発表</p> <p><世界遺産学習></p> <p>1. 国内の世界遺産に関する学習(価値・思い・参画・行動化)</p> <p>2. 三池港110周年記念事業への参加</p>	<p><福祉学習></p> <p>1. 思いやりの心と生命の尊さなどを考える乳幼児とのふれ合い保育体験活動</p> <p>2. 乳幼児との関わりから学んだことを発表・発信</p> <p><キャリア学習></p> <p>1. 高校調べ</p> <p>2. 進路実現に向けた学習(勉強の仕方、マナーについての学習)</p> <p>3. セルフプレゼンテーション</p> <p><世界遺産学習></p> <p>1. 世界の世界遺産に関する学習(価値・思い・参画・行動化)</p> <p>2. 世界遺産学習のまとめ</p>
	生徒会	<p><国際理解>・ユニクロ服のチカラプロジェクトの取り組み</p> <p><環境>・地域清掃活動</p>	<p>・海外との交流</p> <p>・ふれあいボランティアサポート</p>

地域・保護者の支援
<p>○地域の「ひと・もの・こと」の活用</p> <p>「ひと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GTとしての活用 ・人材バンクづくり ・生涯学習課等との連携 ・地区公民館との連携 <p>「もの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の職場の活用 ・公共施設の活用 (駛馬・勝立地区公民館、幼稚園、保育園等) ・世界遺産 <p>「こと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大牟田の伝統・文化(炭鉱・大蛇山等の祭)
<p>駛馬・天の原・玉川小学校の実践</p>
<p>子ども大牟田検定 市のESDに係る施策</p>